

会議の概要

会議の名称	あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会
開催日時	令和8年3月13日（金） 午後2時
開催場所	あま市役所2階 A会議室
議 題	(1) あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に関する 実態調査の集計結果について (2) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果について (3) 在宅介護実態調査の結果について (4) 介護支援専門員調査の結果について
会 議 資 料	1. 次第 2. あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員名簿 3. あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に関する実 態調査（調査結果報告書）
公開・非公開の別 （非公開の場合はそ の理由）	公開
傍聴人の数 （公開した場合）	0人
出席委員	加藤 昭宏 井村なを子 下方 辰幸 野口 隆 笹山 聡 武藤 二三夫 立松 愛唯 中上 典子 服部 章平 杉本 吉之
欠席委員	覺前 淳
事務局	高齢福祉課長 国立 主 幹 中井 課 長 補 佐 岩間、小林、近藤 係 長 石川、杉本、後藤 保険医療課主査 藤本 健康推進課係長 植田 Next-i 株式会社 安村（委託業者）

議事内容

事務局	<p>本日は大変お忙しい中、令和7年度第2回あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。</p> <p>定刻となりましたので、ただいまより始めさせていただきます。</p> <p>今回の策定委員会は『あま市審議会等の会議の公開に関する要綱』第3条に基づき公開で開催いたします。また、同要綱第7条に基づき、本日の策定委員会終了後、会議録を作成し、市公式ウェブサイトへ会議録を掲載することとなっておりますのでご承知ください。</p> <p>本日、傍聴はございませんので、ご報告いたします。</p> <p>本日「覚前委員」からご欠席の連絡がございましたので、この場で報告させていただきます。</p> <p>はじめに、加藤委員長よりご挨拶をいただきたいと思います。 よろしく願いいたします。</p>	
委員長	<table border="1" data-bbox="406 985 603 1030"><tr><td>あいさつ</td></tr></table>	あいさつ
あいさつ		
事務局	<p>ありがとうございました。 ここからは着座にて失礼いたします。</p> <p>続きまして、資料の確認をお願いします。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 次第2. あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員名簿3. あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に関する実態調査（調査結果報告書） <p>でございます。</p> <p>なお、実態調査結果報告書につきましては、本日カラー刷りの資料をご用意させていただいておりますので、そちらでご確認をお願いいたします。</p> <p>また、本日この委員会に置かしましては、あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の調査業務を委託しております、Next-i 株式会社の安村氏を同席させていただいておりますので、ご承知いただけますようお願い申し上げます。</p> <p>それでは、議事の進行をさせていただきます。 これより議事の進行を加藤委員長をお願いいたします。</p>	

委員長	<p>それでは、議事の進行をさせていただきます。</p> <p>では、「議題（１）高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に関する実態調査の集計結果について」を議題とします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	資料に沿って説明
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今の説明において、ご質問はありませんでしょうか。</p>
	(特になし)
委員長	<p>質問等ございませんでしたので、次に進みたいと思います。</p> <p>「議題（２）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果について」を議題とします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	資料に沿って説明
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今の説明において、ご質問はありませんでしょうか。</p> <p>私からは、お金に関すること、移動に関すること、参加に関することの3点を事前の打ち合わせで確認をお願いさせていただきました。</p> <p>お金に関することでいうと、9ページの間7で「苦しい」が約3割ということでしたが、こちらと36ページの間48-2をクロスして、「大変苦しい」「やや苦しい」と回答された方の中に、どれくらい「働きたいが働ける環境・状態にない」と回答した方いるのか、つまり経済的に苦しいという状況に対して、直接金銭的な支援が仮に難しくても、本当は働きたいけども環境的な要因、例えばご家族の何かしらの状況や8050世帯等で働きたいけど働ける環境にないから「苦しい」と回答されている方がどれくらいいるのかによって、経済的な支援に対する施策の方向性が少し見えるのではと思い、質問させていただきました。</p> <p>2点目に関しても、先ほど12ページの間14から間16にかけて移動に関する報告がありましたが、そういった方の属性や経済的な状況とのクロスで、今どういった傾向があるのか。</p> <p>例えばお金があってもなくても、やはり移動手段がないということであれば全般的な移動の問題・課題ですし、経済状況とも関連性がみられるのであれば経済施策とも連動しながら移動のことも考えていかなければならないのではということを考え、質問させていただきました。</p> <p>3点目が参加に関することで、例えば33ページの間47の地域づくりに関する参加の意向というところで、「参加したい」が約3割と説明していただきました。</p> <p>この3割の方が、何かしら参加の希望があるにもかかわらず、まだ参加につながっていない、いわゆる潜在的な参加可能な層がかなり多くいるということが勿体ない気がしています。</p> <p>また、68ページの間69の介護予防に関する関心で、「関心はあるが参加したことはない」が約6割ということで、せっかく思いがある方になかな</p>

	<p>か情報が届きづらい・届いていない可能性があるのかと思ってこちらの回答を見させていただきました。</p> <p>特に介護予防に関しては、要支援になると意識が下がってしまうというデータも以前お見受けしたことがあります。やはり、介護予防という観点も、元気なうちからということで周知啓発がかなりポイントになってくるのではと思っております。</p> <p>そういった点で、お金に関すること、移動に関すること、参加に関する事で、何かクロス等で分かることがあればお願いいたします。</p>
事務局	<p>今、委員長からいただいた質問で、まず問7と問48-2のクロス集計について、経済状況が苦しいという方で「働きたいが働ける環境・状態にない」と回答した方は全体の24.8%でした。「ふつう」と回答した方も10%程度となっています。</p> <p>「非常勤（パート・アルバイト等）で働きたい」と回答とした方についてはあまり差がなく、苦しい方も普通の方もどちらも10%未満です。</p> <p>2点目の移動について、「経済的に余裕がないから」が全体では5.2%あり、その中で70%の方が経済的に苦しい方となっています。残りの14%がふつうの方で、経済的に余裕がある方についての回答はゼロでした。</p> <p>続きまして、3点目の参加について、33ページの問47です。</p> <p>「参加したい」と回答した方については、経済状況としてはあまり変わらず、「参加しても良い」と言っている方は比較的ゆとりがある方が少し多めの回答をいただいています。</p> <p>こちらは経済状況に関係なく、参加したいというような回答をいただいています。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>1点目のお金に関することについては、世帯支援を通じた経済的支援ができる可能性が少なくとも24%の方はいるとか、参加に関しても、実は自分からは言い出さないけれども、誘われる等そういった機会や情報があれば参加につながる層が一定数いるということで、ぜひ何かに活かしていただければ良いなということで質問させていただきました。</p> <p>他にご質問のある方、いかがでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次に進みたいと思います。</p> <p>続きまして「議題（3）在宅介護実態調査の結果について」を議題とします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	資料に沿って説明
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今の説明において、ご質問はありませんでしょうか。</p>
	(特になし)
委員長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>質問等ございませんでしたので、次に進みたいと思います。</p>

	<p>続きまして「議題（４）介護支援専門員調査の結果について」を議題とします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	資料に沿って説明
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今の説明において、ご質問はありませんでしょうか。</p>
委員	<p>124 ページの問 17 の「認定調査業務を委託することについて」は、通常業務があることでなかなか引き受けたくないというような回答ですが、これは認定調査員が不足しているのをお願いしているということですよ、</p> <p>介護認定の審査会をしていますと、先ほどの資料にもありましたが使わないけど 3 割の人は申請しているという状況があり、そういったところが何とか是正できれば、調査員を少しでも減らせるのではと思いました。</p> <p>なかなか難しいのかもしれませんが、どうしても調査件数もどんどん増えていき、使わない人も増えていくなると、お金も人員も足りなくなると思い、何とか手が打てると良いのではと思いました。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>委員のご指摘のとおり、あま市の現状として、介護認定件数については軒並み、微増ではありますが増えてきております。</p> <p>ただ、本日報告させていただきましたが、介護認定は取るけれども給付、サービスに結び付いていないということがございます。</p> <p>しかしながら、介護認定について、申請される皆さんのお考えがあるので、事務局としては「何かあった時のため」「念のため」に介護認定はとりあえず取っておき、「何かあった時にすぐ動けるように」というイメージではないかと思えます。</p> <p>こちらは、課題として受け止めて今後も進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>知識がないのですが、130 ページの「あま市において地域包括ケアシステムを推進するために必要なこと」というところの、要はフォーマルではない、市がやるサービスではなくて地域の助け合いの中で行われる 129 ページ問 22 で言えば「買い物や通院時の送迎サービス」であるとか、130 ページでいうと「ボランティアやNPO等による生活支援」に対して、この結果は必要とっていたり、これから期待をされているということですよ。</p> <p>それで、実態としてはどれくらいインフォーマルサービスが進んでいるのかがこれでは見えていなくて、そういった質問も無かったかと思えますが、介護支援専門員が、そもそもそれが無いから期待しているという理解で合っていますか。</p>
事務局	<p>委員のご指摘のとおり、ケアマネとしてもボランティアやNPO等による支援は必要だという認識で、ご意見をたくさん頂戴したのかと思っています。</p> <p>こちらについては、新年度から始まる計画策定にてもう少し深掘りできたらと考えています。</p>

<p>委員</p>	<p>先ほどのところの、例えば老々介護が結構ある等、現状として、地域自体に高齢者が多いと思っています。</p> <p>なかなか地域コミュニティが希薄化し、自治会等も広報を配ることがなく、根本的に地域福祉計画ともある程度連携しないとこの問題は解決しないのではいつもと思っています。</p> <p>特にボランティアによる支援ですね。</p> <p>私どものNPO法人でも、今は不登校支援も、地域の受け皿として微力ながらやっています。</p> <p>ただ、行政と情報ネットワーク等の連携ができていないことが非常に大きな課題だと感じており、バラバラと動いても、例えば計画の中に、どうしたら連携ネットワークが構築できるのか、我々で言えば特に小中学生の不登校が増加している中で、それがやがて引きこもりにつながる問題であるので、やはり枠組みを超えて計画の中にも盛り込んでいかないと、区切られた高齢者という対象の中だけの計画だと、どうしても進みづらい、この分野でのボランティアやNPO等の生活支援や地域支援というのは難しいと感じました。</p>
<p>事務局</p>	<p>地域で色々な取組をされている団体やクラブもあるかと思います。</p> <p>恐らく、そういった情報が一元化されずに、知れ渡っていないところで使い勝手が非常に悪くなっている部分もあると思います。</p> <p>熱心に活動されている団体等の情報を一元化して、より使いやすくするという工夫も必要かと思っておりますので、ぜひご協力いただけますと幸いです。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>前回も委員長がおっしゃられたかと思いますが、やはりどうしても、対話の場が少ないということを実感しており、公民で対話の機会ということが今後必要ではとも感じていますので、計画の方でよろしく願います。</p>
<p>委員</p>	<p>全体的に見させていただき、認知度を尋ねる設問で「知らない」と回答した方が結構多いような気がします。</p> <p>皆さんも一生懸命PRされていますが、例えば私の家族で介護が必要になった人が出た場合は、包括に行くのでしょうか、市役所に行くのでしょうか。</p> <p>今後の計画づくりを進めていくうえで、そういったPRを、皆さんに広く知っていただけるような方法を考えておくと良いと思います。</p> <p>もう一点は、生活が苦しいという人が増えてきています。</p> <p>私たちの時代は一億総中流社会といって8割～9割が「ふつう」と言っていたのですが、調査結果を見ると生活が苦しい、ケアマネの中でも経済的に困っているという回答が結構ありました。そういった生活が苦しい人への対策も考える必要があるのではと思います。</p> <p>新聞紙上では、例えば介護保険料も今回も上がるような話もしていますし、国保と混同しているかもしれませんが納期を増やして毎月徴収するよ</p>

	<p>うな形になります。</p> <p>そういった経済対策と周知を考えていただきたいと思ひますし、私たちも考えていかなければならないと思ひます。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>確かに、「知らない」という回答が多くございましたので、まだまだ周知の方法も検討が必要だと思ひております。</p> <p>恐らく、委員がご指摘の件は国保税や後期高齢者医療、介護保険料の普通徴収の納期の変更の話だと思ひます。</p> <p>来年度から、あま市において年度初めの仮算定を廃止し、7月の本算定以降、2月まで毎月の納付ということで変えさせていただきます。</p> <p>ただ、特に介護保険料につきましては、年金からの特別徴収の方が9割でございますので、多くの方にとってはこれまでと変わりませんが、普通徴収となっている定期的な年金収入が少ない方が変更になりますので、丁寧に納付の説明をしてまいりたいと思ひております。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>私も委員に後でお伺いしたいと思ひながら聞いているのですが、次回の委員会がこのアンケートのさらなる分析とそれを踏まえての施策の検討にこれから入っていくという流れかと思ひます。</p> <p>1点、先ほど委員がおっしゃった地域福祉計画と他計画との連携連動は前提だとして、やはりケアマネジャーのお仕事ということも、どう施策としてバックアップしていくかということは、やはり非常に大事になってくるのではと思ひております。</p> <p>今回のこの介護支援専門員調査の結果を見ていくと、例えば125ページ問18-1の8050世帯について「連絡・相談した」が約7割、2割の方は「連絡・相談していない」という話もありましたが、今回の調査を見ていくと、例えば118ページ、119ページのところで、問11で、必要であればケアプランに介護保険サービス以外のサービスを積極的に取り入れるであるとか、問12であれば医療との連携がかなり進んでいるということで、今回のアンケート調査を見るとケアマネジャーがすごく頑張ってくださっているということが、データとしてかなり出ていると思ひております。</p> <p>その中で、市の施策としてどうバックアップを図っていくのかというところで、2点ほど思うところがあります。</p> <p>1点目は、先ほどの8050に関連して、在宅介護実態調査の結果で8050世帯の方がどれくらいいて、どのような困りごとを抱えているのか、これもまたクロス集計等でぜひ次回教えていただきたいです。</p> <p>また、116ページ、117ページにあるように、問9のケアプランの作成で、かなり多くのケアマネジャーが「困る」であるとか、118ページであれば経済的な困窮がかなり増えているとか、家族が非協力的、サービス等を拒否されるといったところに対する支援、バックアップ、フォローということが施策としてどうやれるのかということが、一つ大きなポイントになるのではと思ひております。</p>

	<p>ケアマネジャーの立場として教えていただきたいことが、114 ページ問6の「介護支援専門員としてどのような支援の充実が必要と考えますか」のところで、「介護支援専門員の役割の明確化」が、かなり数が増えて1位に上がっています。</p> <p>これの現状の中身がどのようなものなのかを、少し補足していただけないでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>この「役割の明確化」がやはり上がるんだなということがまずの印象です。</p> <p>私たちケアマネジャーは、やはり介護保険に関することや、ご家族の支援を含め、サービスがどのようにこの方に合うのかというところでご提案させていただいております。</p> <p>ただ、その他にも、例えば独居の方の生活の支援は、生活の中で「ここに行けないから困った」等、介護保険以外の色々な問題が生じます。</p> <p>そういったものもやはり、家族の支援がない場合は、どうしても私たちが色々なものを背負って代わりに色々な仕事をさせていただかないといけないというところで、その方の面倒を見ているというような感じになってしまい、メリハリがなくなり、時間外でも必要があれば動かなければならないという現状があります。</p> <p>ただ、そうしないとこの方が大変お困りになるだろうということで、生活が成り立っていかないというところで、介護保険外の生活全般の支援になってしまうという形で、ケアマネジャーが動いているということが現実だと思います。</p> <p>もちろん、家族も協力できる方はたくさんいらっしゃいますし、そういった方には進んで家族にお願いすることももちろん促してはいますが、生活の状況に応じて、ケアマネジャーが、例えば何かあってもすべてケアマネジャーに集結することになり、困っています。</p> <p>もちろん、介護サービスでご支援ができる面もたくさんありますが、そうではない部分、資源も色々これから考えていただきたいです。</p> <p>例えば他の保険者であれば通院のところの外出支援も独自で考えていて、また、違う保険者は高齢者のタクシー料金を半額にしているといったサービスも考えておられますし、訪問介護による通院乗降介助というものがあるのですが、あま市では恐らくないと思います。</p> <p>保険者によっては訪問介護で実施されているところもあり、介護保険の中でそういったサービスを受けられるところもありますので、もう少し保険者として何か、高齢者の方に少し経済的な困窮ということも混ぜて、市の資源をもう少し考えていただくとありがたいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>質問させていただいた意図はまさしくその通りで、介護支援専門員の役割の明確化というのは、恐らく役割を線引きしたいわけではなく、むしろ業務外を、お金にもならないけどやってくださっている現状があることの表れだと思います。</p>

	<p>ぜひそう言った資源、今委員がおっしゃったように、フレキシブルに使えるようにしていくとか、紹介できる資源が増えていくとか、安心できる仕組みづくりについて、ぜひ皆さんからお知恵をいただけるとありがたいと思います。</p> <p>それでは、その他のご質問等いかがでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、これで議事を終了し、事務局に進行をお返ししたいと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、4 その他でございますが、委員の皆様から何かございますでしょうか。</p>
委員	(特になし)
事務局	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、事務局から次回のスケジュールについてご案内させていただきます。</p>
事務局	<p>次回、令和8年度第1回あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会ですが、令和8年の7月上旬から8月上旬を予定しております。</p> <p>また、決まり次第、周知させていただきますので、何卒よろしくお願いいたします。</p> <p>時間は、本日と同じ14時から、場所も市役所2階の会議室で実施しますので、よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、以上を持ちまして、令和7年度第2回あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会を閉会いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>